

「北九州市障害者計画」

令和5年度 主な施策の実施状況

目次

- 【分野1】生活の支援（障害福祉サービスの充実）
 - 意思決定支援の普及と質の向上 . . . P1
- 【分野5】就労の支援、雇用の促進及び経済的支援の推進
 - 障害特性に応じた就労支援 . . . P2
- 【分野7】生活環境の整備（障害のある人に配慮したまちづくり）
 - 一般住宅への入居支援 . . . P3
- 【分野8】情報アクセシビリティの向上（意思疎通支援の充実）
 - パソコンサポーターの活用支援 . . . P4
- 【分野10】差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止
 - 障害を理由とする差別の解消に向けた取組み . . . P5

【分野1】 生活の支援（障害福祉サービスの充実）

意思決定支援の普及と質の向上

（実施状況）

- ・ 障害者ケアマネジメント研修会を実施した。
- ・ 市、NPO法人、家族会等が協働し、意思決定支援の理解促進を図る冊子の作成や啓発講演等を実施した。

（現状の課題・今後の見通し）

- ・ 意思決定支援に携わる人材の育成用に長中期的・体系的な研修カリキュラム策定や、実務的で事業所内研修にも活用できる内容の研修コンテンツ作成など意思決定を支える環境の整備に向けて検討をすすめる。

1

【分野5】 就労の支援、雇用の促進及び経済的支援の推進

就労支援の充実と就労後の定着支援

（実施状況）

- ・ 北九州障害者しごとサポートセンターを中心に、就職を希望する障害のある人や障害のある人を雇用する企業に対し、就職から職場定着に至るまでの各段階で、障害特性に応じた支援を実施した。

北九州障害者しごとサポートセンターにおける

相談支援 R5年度：10,451件（R4年度：10,998件）

職場定着支援 R5年度：2,033件（R4年度：1,624件）

（現状の課題・今後の見通し）

- ・ 段階的に障害のある人の法定雇用率が引き上げられるなか、北九州しごとサポートセンターを中心に就職から職場定着まで支援を行う。

2

【分野7】生活環境の整備（障害のある人に配慮したまちづくり）

一般住宅への入居支援

（実施状況）

- ・ 保証人不在等の理由により、賃貸契約による一般住宅への入居が困難な障害のある人に対し、家探しや入居に必要な手続きの支援の実施や、入居継続のための調整等を行った。

居住サポート事業 R5年度：1,661件（R4年度：1,351件）

（現状の課題・今後の見通し）

- ・ 今後も、引き続き、居住サポート事業を通じて、障害のある人が身近な地域で生活を営むことができるよう支援していく。

3

【分野8】情報アクセシビリティの向上（意思疎通支援の充実）

パソコンサポーターの活用支援

（実施状況）

- ・ 障害の特性に応じた、パソコンやその周辺機器の操作に関する支援方法を修得する講座を開催した。

養成講座受講者 R5年度：11人（R4年度：3人）

- ・ パソコンサポーターの派遣

派遣数 R5年度：272回（R4年度：195回）

- ・ 障害のある人向けパソコン等操作講習会

概ね週1回開催 延べ参加者数 R5年度：174人（R4年度：129人）

（現状の課題・今後の見通し）

- ・ 事業の周知に力を入れ、サポーター養成講座受講者数等の増加を図る。 4

【分野10】差別の解消、権利擁護の推進及び虐待の防止

障害を理由とする差別の解消に向けた施策の推進

(実施状況)

- ・ 障害のある人への差別解消や合理的配慮の提供等の啓発に関する講演会等を実施した。

出前講演等 R5年度：20回（うち市職員向け研修等3回）

R4年度：13回（うち市職員向け研修等3回）

(現状の課題・今後の見通し)

- ・ 令和6年4月から、合理的配慮の提供が義務化されたことから、事業者をはじめこれまで以上の啓発活動が必要となる。